

## 「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会（午後の部）」 会議録

- 1 開催日時 令和2年10月4日（日）  
午後部：13時30分～15時00分
- 2 開催場所 金杉台小学校 体育館
- 3 参加人数 7人

### 【司会】

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。まず、資料等の確認をいたします。5種類ございます。「次第」、「資料1 統合までの間の入学等対応策」、「資料2 進学先に関するアンケート集計結果」、「資料3 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」、「ご意見等記入用紙」、「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」です。不足はございませんでしょうか。

続きまして、皆様方をお願いがございます。会の進行上、携帯電話、スマートフォン等をお持ちの方は、マナーモードにさせていただくか、電源をお切りいただきますようよろしくお願いいたします。本日の説明会は、議事録を作成いたします関係上、質疑応答等を録音させていただきます。ご承知おきください。皆様方には、録音・録画・写真撮影はお控えくださいますようお願いいたします。

本日の説明会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市で定めている「船橋市における公共施設再開に向けての基本的な基準」に準じ、皆様方にもご協力をいただきながら進めさせていただきます。入場時には、検温等の体調確認、手指の消毒、マスクの着用、などにご協力をいただきありがとうございました。こちらの会場内では、密を避けるため座席間隔をとり、換気、マイクの消毒等適宜行いながら、進めてまいります。また、咳エチケットにご協力いただきつつ、質疑応答の発言の際には、マスクを着用したままでお願いいたします。お配りした資料の中の「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」についてご説明いたします。あらかじめ座席に置かせていただきましたが、このカードは、皆様の体調確認とご連絡先を記入いただくとともに、万が一、発症者等が出た場合には、保健所による疫学調査のため、保健所等へ提出いたしますのでご承知おきください。その際、お座りいただいた位置も特定する必要があるため、座席位置がわかるように番号で管理させていただきます。お預かりしました施設利用者カードについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにのみ利用し、1か月間適切に保管・管理したのち廃棄いたします。説明会終了後、ご記入いただいた施設利用者カードを必ずご提出をお願いします。

また、本日の説明会の終了時刻は、3時を予定しております。学校をお借りいたしますので、限られた時間となりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、本日の説明会にあたり、金杉台小学校の校長先生、教頭先生をはじめ先生方にご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。また、金杉台中学校及び御滝中

学校の校長先生には、現在の中学校の現状や統合に向けた対応についてご説明をいただけることとなり、本日までご出席をいただいておりますことを感謝申し上げます。

それでは、ただいまより「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会」を始めます。

はじめに、船橋市教育委員会管理部長よりご挨拶申し上げます。

#### 【管理部長】

皆様こんにちは。休日のところ、またお忙しいところ、説明会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今年の3月5日の教育委員会会議で、金杉台中学校と御滝中学校の統合についての決定が行われました。3月中に皆様に一度、地域説明会という形でご案内する予定でしたけれども、新型コロナウイルスが発生し、なおかつその感染拡大ということでなかなかこの説明会が開催できず、ようやく今日できる運びとなりました。この間、ホームページや文書のみのご案内になってしまったことを深くお詫びしたいと思います。

現在、令和5年4月の統合に向けていろいろ準備をしております。今の小学校5年生、6年生については中学校在学中に統合となってしまいます。先日行いましたアンケートの中でも統合についての不安ですとか質問、様々なご意見をいただきました。それはいちいち、ごもっともなことだと深く受けとめているところでございます。

今日はそのときに寄せられました不安ですとかご質問について丁寧にお答えさせていただいて、統合に向けて市として、教育委員会としてどういうことをやっていくか皆様にお伝えしたいと思っております。今日は皆さんご出席いただいておりますので、

忌憚きたんのないご意見・ご質問等もいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

#### 【司会】

ここで、出席職員の紹介をいたします。

#### 【順次、紹介】

このあとの説明と質疑応答の流れについてご説明いたします。まず、次第の「2. 金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策について」、それから「3. 進学先に関するアンケート集計結果について」、こちらをまとめて教育委員会の各担当からご説明いたします。説明終了後、ここまでの説明について質疑応答の時間を設けます。そのあと、次第の「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」についてご説明をさせていただき、再度、質疑応答の時間を設けます。それでは、早速、次第に従い進めさせていただきます。

#### 【教育総務課長】

次第の2、金杉台中学校の統合までの間の入学等対応策について、お手元の資料1

でご説明いたしますのでご用意ください。まず、この入学等対応策を決定するまでの経緯についてご説明いたします。教育委員会では、今年の3月5日に開催された教育委員会会議臨時会において船橋市立金杉台中学校の統合方針を議決し、令和5年4月に金杉台中学校は御滝中学校に統合することを決定いたしました。

統合を決定するに至った理由は、小規模化した学校の課題として挙げられる、集団生活上、教育活動・学習指導上、学校運営上の問題を解消し、子供たちの教育環境の向上を図るため、金杉台中学校は御滝中学校と統合することが望ましいと考えたためです。次に、統合の時期に関しては、統合先である御滝中学校の受け入れ体制の整備などを考慮しても、2年間で統合が可能と考えますが、統合方針決定時には、既に入學準備を済ませていた、当時の小学6年生については、教育的配慮として、そのまま金杉台中学校で卒業を迎えることができるよう、3年後の令和5年4月とすることといたしました。また、統合の移行期となる、令和3、4年度に金杉台中学校に進学する児童、つまり、現時点での小学5・6年生にとりましては、学年の途中で御滝中学校へ統合となることへの不安や、統合後の制服はどうなるのかなど、これから進学先を決定するにあたっての悩みやご心配事の課題を整理し、安心して進学先を選択できるよう、6年生が進路を考えるこの秋までに対応策を決定し、皆さんにご説明する必要がございました。そこで、金杉台中学校、御滝中学校の両校にとって望ましい教育環境を整えること、各家庭の多様な考えに可能な限り寄り添うこと、統合に向けて生徒の心情面や各家庭での負担を軽減すること、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮すること、この4点を重視しながら、教育委員会及び統合準備会で諸課題を整理した対応策の案を作成し、7月に実施した進学先に関するアンケートにより皆さんのご意見をお聞きした上で、お手元の入学等対応策を決定いたしました。それではこれより対応策について、所管する各担当課から詳細をご説明いたします。

#### 【学務課長】

資料のうち、「1 統合までの間（令和3、4年）に入学する中学校」について学務課から説明いたします。統合までの2年間、金杉台中学校の指定学区に住んでいるお子さんについては、金杉台中学校に入学していただくことを原則とし、この間に入学したお子さんは、それぞれ3年生に進級時、2年生に進級時に御滝中学校に転校していただくこととなります。ただし、中学校入学時に、通学指定校変更を申請することにより、御滝中学校に指定校変更することができます。通学指定校変更を認める理由としては、アンケートの際にお示しした「案」では、「①入学時に御滝中学校2、3年生に兄・姉が在籍している、②金杉台中学校に希望する部活動がない、③統合時に転校することを望まない」の3点を挙げておりました。そのうち、「金杉台中学校に希望する部活動がなく、御滝中学校にはその部活動がある場合」を理由とした申請を行う場合、児童本人が記載する「通学指定校変更に伴う部活動入部願」を希望する中学校に持参し、校長との面接、校長の承認を経て学務課に指定校変更申請する必要があります。これに対し、「統合時に転校することを望まない」を理由とする場合、添付書類

等なく通学指定校変更申請書を提出していただいただけなので、部活動の理由については「転校を望まない」の理由に含むものとし、手続きの簡略化を図ることとしました。そのほか、記載事項に変更はございません。なお、申請用紙は入学通知書と一緒に送付し、小学校を通して提出していただくことを予定しています。

#### 【指導課長】

続きまして、「2 統合までの間（令和3、4年）に入学する児童の制服・学用品等について」、「3 統合に向けた生徒の交流について」、併せて指導課から説明いたします。この2、3いずれに関しても、統合に向けて生徒の心情面の負担を軽減し、統合後の学校生活をスムーズに送れるよう配慮するという観点からまとめました。アンケートの際にお示しした「案」の段階から、記載事項に変更はございません。まず、制服・学用品等に関しては、令和3年4月、令和4年4月に入学する児童のうち、金杉台中学校に入学する児童については、金杉台中学校の制服、御滝中学校の制服、どちらを着用してもよいものとし、また、令和5年4月の統合後、金杉台中学校の制服をお持ちの生徒は、卒業まで金杉台中学校の制服を着用できるものとし、また、希望する生徒には制服バンクやリサイクルを利用して御滝中学校の制服も着用できるよう、今後、準備を進めてまいります。なお、制服以外の学用品等についても両学校間で調整いたしまして、令和3年4月以降、保護者に転校による金銭的負担が生じないようにいたします。

交流に関しても、統合に向けて、両校の教育課程や学校行事等を調整し、生徒たちの交流事業を計画します。また両校で類似する部活動がある場合については、合同練習などの交流を行うことを検討いたします。

#### 【教育総務課長】

続きまして、次第の3、進学先に関するアンケート集計結果について、資料2にてご説明いたします。このアンケートは、統合までの間の入学等対応策案へのご意見と現時点での進学先や統合への不安等をお伺いすることを目的に、7月に行いました。多くの方からご回答をいただいたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、集計結果をまとめた報告冊子は、保護者説明会のご案内とともに、既に皆様に配付いたしましたので、ここでの説明は割愛いたしますが、要点については、1ページの「概要」のとおりまとめましたのでご確認いただければと思います。

2ページをご覧ください。「統合に向けての疑問・ご質問」をまとめました。アンケートでは、統合までの間の入学等対応策案に関しては、多くの方からご賛同をいただきましたが、一方で、良いと思えない点など自由記述によりご意見・ご質問をいただいております。また、アンケートの巻末に自由記述欄を設け、統合や統合に伴う転校に対して心配な点や不安なことなどをご記入いただいたところ、転校時や統合後の学校生活に関する様々のご意見がありました。アンケートの自由記述に関しては、全てのご意見をこの場でご紹介することはできませんが、寄せられた疑問やご意見をまと

め、これより、教育委員会の考えについてご説明いたします。

**【学務課長】**

まず1番の「人数が少なくても金杉台中学校に入学できますか？希望者が少数のとき、統合が早まってしまいますか？」という質問です。まず人数ですが少なくても希望していただく限り、入学することはできます。アンケートの結果からしますと、かなり少ない人数となることも考えられるため、10月中旬に意向調査及び選択照会を行い、その回答状況を改めてお知らせいたします。「人数によって金杉台中学校に入学を考えたい」と回答された方には、人数をお伝えした上で改めてご意向を確認します。細かい手続きについては、このあと次第4にて資料3を見ていただきながらご説明いたします。

**【教育総務課長】**

なお、「希望者が少数のとき、統合が早まってしまいますか？」については、統合時期は令和5年4月の予定です。統合時期を変更することはございません。

**【学務課長】**

続いて2番の「選択地域のように、指定学区も通学指定校変更申請を省くことはできませんか？」の質問です。令和5年の統合までの間は、金杉台中学校の指定学区はそのままになるため、お手数おかけいたしますが、小学校を通じて指定校変更申請書をご提出いただくこととなります。詳細につきましては、このあとご説明いたします。

**【指導課長】**

続きまして3番の「制服以外のカバンやシューズの扱いは？」についてです。次第の2でご説明いたしましたとおり、金杉台中学校の入学の際には、家庭の経済的負担も考え、金杉台中学校、御滝中学校のどちらの制服も着用可とします。また、制服以外のカバンやシューズ、体操服、上履きなども同様に着用可とします。統合に伴う転校後も、どちらの学校のものを使用しても構いません。制服以外も金杉台中学校で使用していたものでも可といたします。また、学校で使用する副教材などについても、現小学校6年生が中学校入学となる令和3年4月から共通化していきます。

続きまして、4番の「学校行事を一緒にする交流はできますか？」についてです。統合に向けた生徒同士の交流を考えますと、やはり友人関係を良好にしていくためにも、行事を一緒に行うことはとても大切なことであると思っています。学校には、卒業式、音楽祭、運動会、校外学習等、様々な行事があります。それぞれの学校で行ったほうがよい行事もありますので、学校と話し合いながら、実施したいと考えております。

**【保健体育課長】**

続きまして5番の「部活動の交流は統合に向けて合同チームにできますか？」というご質問ですが、毎日行われております朝練習や放課後の練習で、生徒の行き来を考えますと、合同のチームにしてしまうことは少し難しいと考えておりますので、統合までの期間は交流という形が望ましいのではないかと思います。なお、交流する場合には、校長先生及び実際に指導を行っていただく両校の部活動顧問の間で調整をしていただくようになると思います。

**【指導課長】**

6番の「御滝中学校は人数が多いので不安。一人一人の子供に先生が目が行き届かなくなるのでは？」についてです。学級数・生徒数ともに多い御滝中学校への統合について、まずは、不安等を感じさせてしまい申し訳ございません。このため、統合前から交流事業を行うなど、可能な限り不安を軽減できるよう、進めてまいります。御滝中学校では先生方の人数も多いです。担任の先生だけでなく学校全体で見守り体制をつくり、より多くの目で生徒一人一人を見て支援してまいります。

続きまして、7番「統合の際、2年だけでなく、3年進級時にもクラス替えを行ってほしい。」についてです。統合の際の金杉台中学校の生徒の心のケアは大変大切と考えます。クラス替えが可能かどうかは学校と検討していきます。

**【学務課長】**

8番の「統合の際、金杉台中学校の先生が御滝中学校へ異動できますか？」についてです。教員の異動については、異動する教員の希望、それから中学校は教科担任制であるということのため、難しい面もございますが、可能な限り配慮して行っていきたくと考えております。

**【指導課長】**

続きまして4ページ、9番の「いじめが心配。仲間外れなどが起きないように配慮してくれますか？」についてです。いじめ、仲間外れ等、心配事は当然ながらやはり起こりうるものだと思っております。学級活動、道徳の時間など、教育活動全体を通して様々な機会を使って、望ましい集団生活のあり方について指導や支援をしていきます。また、担任の先生だけでなく、学年や学校全体で見守り体制をつくって、生徒一人一人を見ていき、いじめの対応を含め、生徒全員が安心して学校生活を送れるように支援していきます。

続きまして、10番の「勉強、修学旅行、受験、学校生活など、統合で環境が変わることが不安です。」というご意見です。受け入れについて、統合の際には、御滝中学校の生徒に丁寧に話をします。金杉台中学校の生徒には、できるだけ不安にさせないような様々な形でサポートをし、統合の良さをしっかり出せるようにしたいと考えております。また、少しでも早く学校生活に慣れてもらえるよう、ガイダンスや交流活動を

充実させて、学校全体で、心のケアを行い支援していきます。統合は、確かに不安を覚えるとは思いますが、しかし、様々な不安を解消できるように学習面・生活面等において全力でサポートしていきます。

続きまして、11番「学習の進み方や成績・内申の扱いは、統合したらどうなりますか？」についてです。中学校につきましては進路もかかわってきますので大事なことだと思います。各学年の学習は1年ごとに完結することが基本なので学習の進み方に問題ありません。しかし、中には中学校3年間で指導する教科もあるので、統合に当たっては、統合前（令和4年度末）までの既習内容が、金杉台中学校と御滝中学校とで差が出ないよう教育課程を調整いたします。なお、中1・中2の成績は、統合前のものとなります。

#### 【教育総務課長】

続きまして12番の「それぞれの中学校の生徒会やPTAなどはどうなりますか？」についてです。教育委員会のほか金杉台小・中学校、御滝中学校の関係校の教職員と保護者・PTAの代表者で組織する統合準備会で、統合に向けた諸課題の一つとして、今後具体的な検討をしていただく予定です。

続きまして13番の「統合しても教室は足りませんか？」の質問です。統合後の御滝中学校の生徒数・学級数を推計していますが、現在の施設で受け入れは可能、統合しても教室は足りる推計です。

#### 【総合教育センター教育支援室長】

続いて14番の「学習などに不安がある子供は少人数の金杉台中学校では安心ですが、統合後の学校生活が不安です。」についてです。学習面などに限らず対人関係や生活面など配慮を必要とする児童生徒の支援につきましては、学級担任をはじめ、特別支援教育コーディネーターや生徒指導担当を中心に校内で課題や支援の方法について共通理解を図りながら組織的に、学校の状況に応じて積極的に取り組むべきものと考えております。統合時におきましては現担任を通じて丁寧に引き継ぎを行い、御滝中学校でも情報が共有されるよう配慮してまいります。また、学校はもちろんですが、教育委員会も学校と連携して取り組んでまいりますので、不安等がございましたら、ご相談いただければと思います。

#### 【教育総務課長】

15番、「コロナ禍において基礎疾患があるので感染リスクの小さな環境で学ばせたい。落ち着くまでの間、金杉台中学校の統合を先延ばしできませんか？」のご質問についてです。現在のところ、新型コロナウイルス感染症の状況に伴う統合の延期は、現時点では考えておりません。

**【保健体育課長】**

これに関しまして補足をさせていただきます。今、コロナの中で、学校生活を送っておりますが、各学校におきましては「学校生活における感染症対策マニュアル」を出しており、それに伴いまして、感染防止、又は感染拡大防止に務めていただいております。統合しても、そのときにはコロナがどういう状況か、変わってくるかもしれませんが、十分な感染予防対策を行っていきたいと思っております。

**【指導課長】**

最後に 16 番、「金杉台小学校と金杉台中学校の小中連携教育は今後どうなりますか？」についてです。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、行事を一緒に行うことはできませんでした。ただし、統合までの間の令和 3 年度、4 年度の行事については、両校で検討してまいります。

**【教育総務課長】**

以上、統合に向けての質問・疑問点 16 点について教育委員会の考えを述べさせていただきました。

**【司会】**

ここで、金杉台中学校、御滝中学校の両校の校長先生から、教育委員会の説明への補足や現在の中学校の様子や統合に向けた対応などについてお話をいただきます。では、金杉台中学校の芦田校長先生、よろしくお願いいたします。

**【金杉台中学校 校長】**

皆様、こんにちは。私は元々保健体育の教員として、部活動は自分でも経験があるサッカー部を担当することが過去、多くありました。

平成 30 年、2018 年 4 月より金杉台中学校にお世話になり、今年度で 3 年目を迎えております。平成 29 年度より金杉台中学校の今後を考える会というもので、意見交換等が行われていたようです。着任後、この会に参加を求められてきましたが、私にとって、学校の今後のことも大事ですが、とにかく今のことしか考えられないということをよく言うておりました。なぜなら、中学校での生活は 3 年間しかありません。今や人生 80 年あるいは 100 年と言われるような時代となりましたが、そう考えるとこの 3 年間というのは一生のうちのほんの一部かもしれませんが、この 3 年間は人の一生を左右すると言っても過言ではないと自分では思っています。目の前にいる子供たちの 3 年間の生活が最も重要なことだと考えていたからです。確かに、金杉台中学校は生徒数が少ないです。したがって部活動の数も少ないです。現在ある部活動でも、チームの必要数の部員がいない。例えば野球部は 9 人必要ですけれども、私が来る前は 1 人だったり、着任してようやく 3 人になり、最後は 3 年生 2 人だけになり、今年度は夏の大会もなくなったので、交流試合のような形でほかの学校のチーム



に混ぜてもらって試合ができたという現状です。このような状況の中で子供たちの活動をどのように盛り立て、活躍の場を増やしていくか考え日々の実践に取り組んでおります。また、学習面においても、わからないこと、わからなかったことがわかるようになること。できないこと、できなかったことができるようになること。私も体育の授業に顔を出しておりますが、跳び箱が跳べなくても生きていけると思うんです。ですが、もし跳び箱が跳べないのであったら、跳べるように努力すること、これが一番大事なことだと考えております。ですので、経験したことはないことを経験させてあげたり、子供たちが持っている力を最大限に引き出せるように日々努力しているところでございます。平成 31 年 1 月に行われた成人の日記念駅伝競走大会の結果が最下位でした。大会が終わった直後から、毎朝トレーニングを積み重ね、次の駅伝大会では最下位を抜け出せるようになりました。集団的なスポーツで市内の上位を目指すには厳しい状況にあります。ですので、陸上競技の長距離に重点を置いて今現在、頑張らせております。この競技は、努力を積み重ねていくと、数十秒あるいは何分という単位で記録が伸びていきます。実際に、1 年生のとき 3000m を走って 13 分以上かかっていた子が、もう少しで 10 分を切れるというぐらい、記録が伸びてきています。こういう活動を通して、努力の大切さを学び、参加標準記録を突破すれば全国大会にも出場できるという特性を持っている競技ですので、自分の可能性を追い求めて頑張りたいと、日々考えております。

ちょっと前置きが長くなりましたが、来年度あるいは再来年度に金杉台中学校への入学をお考えの方は迷わず御滝中学校の制服・ジャージ・体操服を購入するようにしてください。なお、通学に使う運動靴については本校では特に色の指定がございませんので、小学校のときにご使用になっていたものでも構いませんし、もし新たに購入される場合には体育の授業のときに全力疾走できるものという基準でお選びいただければと思います。決して高価なランニングシューズを購入してほしいということではございませんので、ご理解ください。上履きについても同様です。1 年間ないし、2 年間使ってくると、小学校のように毎週のように持ち帰ることはしませんので、本当に醤油で煮込んだような色になってきたりもしますので、ちょうど移られる 3 年生のときに、新たに買い替える。そして、入試を迎えるにあたって、早めに新しい上履きを履いて過ごされると、ちょうど入試の頃にはちょうどよく汚れていいのかなと思います。

今日、この場で皆様にお話した内容は、今月 16 日に行われます前期の終了式で、現在の本校生徒に、来年度の 1 年生は御滝中学校の制服を着て入学してくるから、ということで、このことは繰り返し話をすることによって、子供たちの理解を得たいと思いますし、違ったものを着ているからといって、仲間外れにはしてはいけないんだ、ということを書いていきたいと思っております。また何かご不明な点がございましたら事前にご連絡いただければお目にかかってお話をすることが可能ですのでお知らせいただければと思います。

【司会】

ありがとうございました。では、御滝中学校の河上校長先生、よろしく願いいたします。

【御滝中学校 校長】

皆様、こんにちは。保護者の皆様の心配やご不安な思いを、このアンケート結果から伺うことができました。御滝中学校として、皆様に今の時点でお伝えしたいことがありますので、少しお時間をいただければと思います。

御滝中学校としては、金杉台中学校とより良い統合ができるよう具体的な準備や取組を進めていかなければなりません。統合後に金杉台中学校の生徒が安心して学校生活を送ることができるようにすることが第一と考えます。2校の統合ですが、両校の人数に大きな差があることにより、令和3年度、4年度に金杉台中学校に入学する生徒、保護者の皆様にとりましては、統合時に御滝中学校に移ることの心配が大きいと思います。ですから、令和5年度の統合時に、御滝中学校と金杉台中学校の生徒が一緒になって、新たに歩いていくという姿勢を大切にしたいと思います。まず、御滝中学校の生徒に令和5年度の統合を伝え、生徒にもしっかり意識付けていきたいと思います。今の在校生は全員が令和5年度には卒業してしまっているのですが、実感が湧かないところではあるのですが、統合に向けて来年度、再来年度に準備を進める必要があること、その中で取り組んでいくことや、どういう学校にしていかなければならないかということも生徒にも考えさせたいと思います。そして、何よりも大切なことは、最初にもお伝えしたように、安心して一緒に生活できるあたたかい学校づくりだと思いますので、校長として子供たちが安心して生活できる学校づくりをこれまで以上に進めていきたいと思っています。

続いて、ご質問についてです。資料2に3ページの6に「御滝中学校は人数が多いので不安。一人一人の子供に先生が目が行き届かなくなるのでは」とあります。確かに、生徒数が少ない学校・学級では、先生も個々の生徒に目を配りやすいことはあります。逆に、人数が多い場合はどうでしょうか。生徒数が多いですから、先生方も多いです。先生が多いということは、それぞれの先生方が、自分の特徴や良さを生かして、教科指導や部活動、行事、委員会活動などの学校生活の場で、多くの視点で子供たちに関わることができる、子供たちの成長を見守ることができる、ということであると思います。生徒数が少ない場合、多い場合、それぞれ良さがあると思います。いずれにしても、学校の先生方は、金杉台中学校でも御滝中学校でも、子供たち一人一人を大切に思い、育み、子供たちのより良い成長を支援するために頑張っています。これは、どこの学校でも変わらないと思います。次に、7の「統合の際、2年だけでなく、3年でもクラス替えを行ってほしい」ということについてです。中学校では、通常、2年進級時にクラス替えを行い、2・3年生は同じ学級で過ごします。これは中学校の教育課程、学校行事を踏まえ、生徒同士が人間関係を築き、学級としてのまとまりを深めながら、卒業に向けて、充実した学校生活を送ることができるよう考えて

のことです。各クラスが統合時に金杉台中学校の生徒をあたたく迎え、一緒に更によりクラスになるようにすることが一番大切ではないかと思います。続いて、9と10についてです。いじめや仲間外れがないように配慮することは当然のことだと思います。金杉台中学校の生徒は、それまでと異なり、大勢の中で生活することになりますから、仲良くなれるか、仲間に入れるか、ひとりぼっちにならないか、いじめにあわないかなど、不安がいっぱいだと思います。ですから、子供たちの様子を注意深く見守りながら、意識的に声を掛け心配や不安を取り除いたり、子供たちの交流が深まるような活動を取り入れたりして、生活に慣れ、クラスの一員として、クラスが一つになるようにしていきたいと思います。また、金杉台中学校での学校生活や活動で学んできたことを御滝中学校でぜひ生かしてほしいと思いますので、一人一人の良さを発揮できるようにしていきたいと思います。質問に関して補足説明は以上です。

ここで、現在の御滝中学校の様子について、ご紹介させていただきます。子供たちは落ち着いた雰囲気です。先月の13日には、今年度、全校生徒での初めての行事となる運動会を実施しました。保護者の参観はなしで、半日で開催しましたが、運動会を成功させようという子供たちの思いや、頑張る姿、仲間を応援するあたたかい姿がたくさん見られ、笑顔があふれる運動会になったと思っています。部活動では、運動部の秋季大会、新人戦が現在行われています。男子バスケットボール部が準優勝を果たし、県大会出場を決めました。御滝中学校は大変多くの部活動がありますので、これからも大会やコンクールなどが続きます。また、全ての部活動から選抜された選手で来週行われる市内駅伝大会に向けて練習に励んでいるところです。

中学校では、様々な問題も起こります。中学校は、思春期の子供たちが、いろいろなことを経験する中で成長をする場だと思っています。子供たち同士でトラブルが起こることもあります。間違ったり失敗したりすることもあります。自分自身のことや友達のことなどで悩み苦しむ子もいます。更に、その年によって学校の雰囲気や状況が変わることもあります。ですから、統合後も心配なことが出てくると思います。そのときは、学校としてできることはしっかり対応していきたいと思いますので、何かあればご相談いただければと思っています。学校と保護者と一緒に子供を育てていければと思っています。御滝中学校についてご質問等がございましたら、意見記入用紙にご記入いただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

#### 【司会】

では、ここまでの説明について、ご質問・ご意見をお伺いしてまいります。着席したままで構いませんので、ご質問・ご意見のある方は挙手にてお知らせください。係員がマイクをお持ちしますので、マスク着用のままご発言をお願いいたします。なお、より多くの方に発言いただけるよう、お一人の時間は長くてもおおむね3分程度でお願いいたします。このあとのご説明もございますので、質疑応答の終了時刻は一旦2時45分頃までを目安とさせていただきます。では、ご意見・ご質問のある方、挙手

にてお知らせください。

**【発言者①】**

まず、子供向けの学校の統合に関する説明会は行われますか。子供向けの説明会を今後予定はされておりますでしょうか。

**【教育総務課長】**

はい。子供向けの統合の説明会ということなのですが、今一応考えておりますのは教育委員会の職員が、何か場をもってご説明するというのではなく、やはり一番今、学校で子供と向き合っていております校長先生、学校のほうからご説明していただけるよう今、調整を取っているところです。

**【発言者①】**

それはいつ頃になりますか。

**【教育総務課長】**

このあと説明があるとは思いますが、10月中にどちらの学校に進学するかという調査をしますので、それまでの間に、もちろんそれが選ぶための説明になると思いますので10月中には説明会をしていただけるように調整を取っているところです。

**【発言者①】**

部活動に関してなんですけど、金杉台中学校と御滝中学校にある部活動が同じでもやり方とかは違うと思うので、簡単なやり方というか、遊び半分とかでやりたい部活が御滝中学校に統合になって入学したらとても本格的な部活動でちょっと疲れてしまうっていうことに関してはどうなりますか。

**【保健体育課長】**

はい。部活動の不安は事前にいろいろお話を聞いています。規模も違うので練習方法等も違うと思うので、今後、統合に向けた準備が始まるので、その辺も含めて顧問の先生方同士で、話し合いをしてもらって部活動の運営については考えてもらおうと思っています。

**【発言者①】**

統合したあとに、金杉台中学校だった人たちで集まって、今、こんな感じだよねっという話し合いとかをする。御滝中学校の人は入れないような部屋を作ってほしいと思いますか。

**【発言者②】**

伝わらないですか。伝わらなかったでしょうか。質問は伝わりましたでしょうか。小学生で、この場に来るのもすごく緊張したのをご理解いただけますでしょうか。はい。それだけ教えていただかないとかわいそうなので。

**【指導課長】**

申し訳ありませんでした。指導課からお答えいたします。

そういった不安、かなり持っているということは、こちらでもしっかり受けとめていきたいと思えます。またそういった部屋を用意するということについては実際に中学校とも検討していきたいと思えます。今、そういうふうには不安であるところは、こちらでもしっかり受けとめたいというふうに思っております。

**【発言者①】**

ありがとうございました。

**【司会】**

ほかに何かございますでしょうか。まだ時間ありますので、どんなことでも結構です。手を挙げていただければと思えます。

**【発言者③】**

実際に私も子供といろいろ話すんですけれども、御滝中学校に対する不安というのが、かなりうわさ話に先行するところが多いと思う。生徒数が多いので、いじめが多いとか、例えば不登校の人がいっぱいいるらしいとか、そういったネガティブな情報がうわさで伝わってきているのがとても心配になっているので、実際、今、どのような形になっているのかということ、先ほど校長先生は素晴らしい、いいところをお話されていましたが、ネガティブなことはっきり情報として教えていただきたいなと思ってご質問いたします。

**【指導課長】**

ご質問ありがとうございます。いじめ、不登校のことについてですが、これについては御滝中学校に限らずどこの学校でも多いという状況になっております。本市においても、いじめの認知件数というんですけれども、そういったところではもちろんあります。ただ、そういったことで起きたときの対応ですね、そこはやはり大事ですね。そここのところでは事例について解消しているかどうかをきちんと解消されているところでは、教育委員会の調査でも出ております。具体的な対応としては、未然防止、早期発見、早期対応ということでそれぞれについて対応してることがありますのでうわさが先行しているところもあるんですけれども、ご安心していただければと思えます。

また不登校のところでも、これは全市、国、報道等でもされていますけれども、不登校の数が増えてるっていうことは、現状としてあります。実際の不登校人数につきましては、本市の昨年度の不登校率というのがあるんですけども、そのところは御滝中学校も不登校はいるんですけど不登校率が特に多くはないということまではお答えできるところであります。

**【発言者③】**

すいませんけどそういったものがいろいろオープンにされている中で小学校とか近隣の住民からうわさが出ているというのは、それはどのようにお考えでしょうか。要は情報開示のレベルとして、例えば御滝中学校の生徒はこういうことがあってこういういじめがあったらしいというのが、一部でうわさでは出ている。それがうわさに過ぎないので不安になっていることも多いと思うんですけども、実際に率とかが、失礼な話 2 人しかいないクラスで 1 人が不登校なら 50%。ただし、御滝中学校は人数が多いので、例え 50 人不登校でも、率が 10%に低くなる。そういったことから率はあまり信用できないので、例えば具体的に御滝中学校さんはクラス何人分ぐらい不登校なんですか。直球でお伺いできればと思います。

**【指導課長】**

目安ということでよろしいでしょうか。1 クラス分にはなっておりません。

**【司会】**

ほかにご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますでしょうか。

**【発言者④】**

うちは御滝中学校を希望しているのですが、そもそも統合すると決まっているのに、制服をなぜ最初から金杉台中学校に行く子も今年度から一緒にしなかったのか。前にいただいた資料の中でも質問させていただいているのですが、それについての返答に入っていないくて、制服が違うっていうだけでクラスから浮いてしまうと思うんです。その辺について、やっぱり子供たちもそういうの含めて、やっぱり不安とかそういうのもあるんじゃないかなというふうに私は思うんですけど、それについての返答っていうのはあるのでしょうか。

**【指導課長】**

ご質問ありがとうございます。まず制服については先ほど説明したとおりで、ご家庭の経済的負担を考えまして、金杉台中学校、御滝中学校、どちらの制服でも着用可とご説明したところであります。ただ、ご質問があったところではそういった不安が生じるお子様が当然出てくると思います。そういったところでは、やはり先ほど校長先生からお話がありましたけれども、受け入れについてや、制服のことについて、各

学校で丁寧に在校生に話をしていくというところは前提として大事なかなと思いますので、そういったところをやっていきたいと考えております。

**【発言者④】**

そういうことではなくて、最初から一緒にすればあとで浮いてしまうことは起こらないじゃないですか。必ずもう統合しますっていう決定がされている上で、なぜどちらでもいいですよっていう選択をしたのか伺いたい。

**【指導課長】**

これについては、やはりご家庭の経済的負担のところが第一の理由です。

**【発言者④】**

金額は違うんですか、御滝中学校の制服と金杉台中学校の制服はだいぶ違う金額になるんですか。同じぐらいあれば最初から御滝中学校の制服を着て通わせてあげたほうがいいんじゃないですかっていうことです。

**【指導課長】**

金額についてはここで今、把握しておりません。申し訳ございません。

**【管理部長】**

金杉台中学校に通いたいお子さんがやっぱり金杉台中学校の制服を着たい。どうしてもそういうお子さんも中にはいるんじゃないかという中で、いろいろ教育委員会の中でも考えました。統合が控えている中で御滝中学校の制服をっていう話も当然あったんですけども、やはり金杉台中学校の制服を楽しみにしているお子さんからするといきなり御滝中学校の制服を着て、金杉台中学校に通うっていうのも、果たして心情的にどうなんだろうっていうところがありましたので、それで今みたいにどっちも選べますよっていう選択という形をとらせていただいたんです。

ですから、皆さんが、統合が控えている中で御滝中学校の制服だけでいいとご判断いただけるのであれば、それは御滝中学校の制服をご選択いただければいいかなというふうに思っておりますし、どうしても金杉台中学校にいる間は、必ず金杉台中学校の制服を着たいと、逆に言うと金杉台中学校に御滝中学校の制服を着ていると逆にそれが少数派になってしまうこともあるんで、ちょっとそこのところはどちらでも選べるようにしてあげたいと思っています。

ただ逆に今度は御滝中学校に統合したときに、金杉台中学校の制服を着て行くと、本当に目立つような形になってしまうこともあるので、その時には経済的な負担のかからないように御滝中学校の制服に着替えられるような形をとってあげたいという中で、今回決定させていただいたところですよ。ご理解いただければと思います。

【発言者④】

小学生の子に向けての説明会という質問がありましたが、以前金杉台小学校の子が署名集めてそれを説明してくださいみたいなやつをやったけど、してもらえなかったというのをどこかで見つたんです。それはどうしてしてもらえなかったのかなと。やっぱり通う本人たちがやってほしいと言っているのであれば、大人だけではなく、子供本人たちの気持ちを、やっぱりくんであげて、説明してあげるのが大人の責任というか、そういう統合とかになって戸惑ってしまうのは子供自身だと思うんです。それがやっぱり聞いてあげたほうがよかったのではないかなと、私は思うのですがそれはどうなのでしょう。

【管理部長】

今ご質問いただいたようなご意見もありました。ただ一方で、やっぱりいろんなお考えがありました。ちゃんと子供に説明してほしいし、お子さんからもこういう説明がうちの子がほしがってるんだというご意見もいただきました。一方で卒業されたお子さんからも手紙をいただいた中では、少人数の中でいろんな役割を自分が1人で担っていくことになってくることも辛かった。というふうなご意見をいただきました。実際本当に統合するのかわかっていうところは最終的に皆さんのご意見を聞いた上で進めなければいけないというふうに考えていました。そこは慎重に時間をとってやってきたと思います。ですからまだ去年のアンケートの中では、金杉台中学校を本当に統合するのか、もし統合しないのであれば、学区の見直しをして存続っていうこともありますよっていう道筋を示させていただいた中で、最終的なご意見を伺ってやってきたところです。ですからそういうどっちにこれから行くのかわかっていう、過程の中で、確定していないあるいはまだ方向性としてはこうだって決まっていなくて、お子さんのご意見をいただくっていうのはどうかなというところもありまして、なおかつ義務教育については、やはり大人の責任ということもあるだろうという中で今まで進めてきたというところはございます。

今振り返ってみるとお子さんの意見というのも確かにそこでお伺いするということはあったのかなというふうにも思いますけれども、ちょっと現実にはそれができてこなかったというところです。ですからせめて今後、校長先生のご協力をいただけた中で、我々お子さんたちとは全く顔を知らない大人がご説明するよりは、やっぱり先生にきちっとご説明していただいたほうがいだろうということで、これから先生たちにお伺いするわけなんですけれども、その中でどういう検討をしてきたのかわかっていうことも含めて、丁寧にお子さんたちの対応ができればなと思っております。

【司会】

ほかに何かございますでしょうか。



【発言者②】

数点、まず 1 点目、意見として言わせていただくことは、10 月中に児童向けの説明をするということでしたが、ということは来週中ということはないでしょうから、今日程が決まってないということは来週中というのは難しいのかなというふうに認識いたしました。そうすると、10 月中旬以降になってくるのかなあというふうに勝手にこちらで解釈させていただいたとき、子供たちに考える時間はこんなにないのか、とかなり愕然としていて、この説明会で、どこまで内容がわかるかわからないけれど、説明会に来て、本人に考えられる時間を作れるようにと思って子供連れで来ましたが、午前中どうだったか知りませんが、今ここにいる児童はひとり。でも興味がある子はいるはずですが。でも大人向けの説明会で手を挙げて小学生が発言するということが、どれだけ子供にとって負担で、どれだけ頑張りが必要かっていうことは、十分皆さんわかってらっしゃる立場の方たちだと私は思って信じています。にも関わらず、子供向けの説明会は後日、10 月中に行います。10 月末までにどうするか決めなさい。子供たちが考える時間がこんなにも少ないかっていうのがちょっと子供軽視じゃないかなと思っていて、その説明の中で子供たちにぜひ伝えていただきたいのは、10 月中に決めなくてもいいと。そう伝えていただかないと、大人がこんなに時間をかけて考えていた問題を、子供は何週間で考えなさいと言われる。ちょっと変な話ですけど、友達同士でどうしようかって話をしながら子供たちは議論を深めていくわけですよ。そういう時間もない。というのはちょっと子供軽視しすぎているかなと思うんで、ぜひそこは子供たちに説明するとき一旦 10 月末に進路出すけれど、変更は可能だよ。ギリギリで変更したくなったら、それが御滝中学校で 1 回出した子でも、金杉台中学校で出した子でも変更は可能だよ、というところをしっかりと伝えてあげてほしいな、とそれは意見として言わせていただきます。

これ以降、ご質問させていただきたいのですが、まず 1 点目、成績の取り扱いについてなんですけど、先ほど御滝中学校の校長先生から、難しい多感な時期なのでクラス替えは十分検討が必要ではないか。というお話でしたが、そうなるとおそらくは 2 年生のときの教科担任の先生が一部、3 年生に持ち上がりという形になるんだろうと想像しています。その場合、御滝中学校の子たちは、例えば 2 年生のときに A 先生の試験を受けたことがある。そして 3 年生に持ち上がって再び A 先生の試験を受けるといふ。金杉台中学校の子たちは全部初めての先生ですから、初めましての A 先生のテストを 3 年生で一発目、受けるということになる。常識的に考えてやっぱり先生のテストって、経験上傾向があるんじゃないかな、と思うんですが、そこの配慮がどういふふうになされるのか。もし、クラス替えを行わないとした場合ですけれども、これクラス替えが行われたとしても教科担任の先生がそのまま持ち上がった場合、どのような配慮がされるのかということをお聞きしたいと思っております。

あとこちらは中学卒業した子供がまだいませんのでわからないんですが、前回のアンケート集計結果の 17 ページにあります、「写真や修学旅行」、要は卒業アルバムということだと思うんですが、それがどうなりそうなのかなという実務的な話になってく

るんだろうと思うんですが、例えば1年生の集合写真が卒業アルバムに載る場合、金杉台中学校の子たちはどうなるのか。というところが、実務的な話になってくると思いますが、気になるところです。以上2点になりますが、お願いいたします。

**【指導課長】**

ご質問ありがとうございます。まずは成績についてですけれども、やはり進路に影響してきますので、大変重要なことだというふうにこちらでも認識しております。先ほども説明したところでございますけれども、令和3年度から教育課程ですね。具体的なテスト内容を気になさっていると思いますが、やはり金杉台中学校、御滝中学校の教科担任同士での打ち合わせをこまめに設定できるよう、もちろん学校に伝えていきたいと考えております。

卒業アルバムですね。これにつきまして実務的とおっしゃいましたけれども正しくおっしゃるとおりでございます。1・2年生のときのものをどうするか、両校の打ち合わせと、卒業アルバムを扱う業者さんも含めてレイアウトなどもどう盛り込むかというのもあると思いますので、同様に各学校と連携してやっていきたいと考えます。

**【発言者②】**

すごく真摯にお答えいただいているのにこういう答え方をするのは失礼かもしれないんですが、結局決まっていまないとされるような気がしてしまって。なるべく配慮しますっていうのは当たり前のこととされていて。統廃合を反対されている方がいた、賛成されている方もいた。その中で最終的に決めた教育委員会が責任を負うべきだと私は思っていて、家庭や児童が責任を負うべきことではないと思っていて、ただ決めるのはこちらにあるんで、決めなければいけないので、それは仕方ないこととして受け止めて、家庭で話し合っただけですが、決めるための情報がちょっと検討します配慮します当たり前ですよっていう気がしてしまって。現段階で決まっていることっていうのは、例えば先ほどお話したテストのときにどういう配慮をするとか、アルバムを作るときにどういう配慮をするっていうことは具体的には決まってないと認識してよろしいでしょうか。

**【指導課長】**

お答えします。具体的どころが決まってないものは、これからしていくと考えてございます。そういった状況です。

**【発言者②】**

わかりました。ありがとうございました。

**【管理部長】**

すいません。先ほどお子さんたちが考える時間があまりないのではないかっていう

ことなんですけど、実はその辺については、次の項目でご説明させていただいて、実際にはもっと長い期間を取っていきたいと思うので、担当課のほうから、ご説明させていただきます。

【司会】

それでは目安の時間になりましたので次の次第にさせていただきます。質疑応答の時間を設けますのでここまでのものについても、そのときに挙げていただければと思います。では、次第「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」について、担当からご説明いたします。

【学務課長】

次第の「4. 令和3年度中学校入学までの今後の流れ」についてご説明します。資料3をご覧ください。

今月中旬には、御滝中学校と金杉台中学校の選択地域にお住いの方に「選択通知」を小学校経由で通知いたします。これは、どちらか入学する学校を選択いただき、今月末までに小学校を通じて回答を提出いただくものです。

あわせて、本年度は、選択地域ではなく金杉台中学校が指定校の地域にお住いの方に「金杉台中学校入学に関する意向調査」を小学校経由で通知いたします。これは、金杉台中学校に進学されるか、御滝中学校に指定校変更申請されるか、又は、「迷っている。金杉台中学校に進学する人数がわかれば、金杉台中学校への進学も考えたい。」というお考えについて、確認させていただくものです。

今月末までに小学校を通じて提出いただいたのち集計して、迷っていると回答された方には、「迷っている方がこのくらいいます」「その方が皆さん金杉台中学校へ行かれた場合、男子は何人、女子は何人、になる予定です」というようなことを個別に学務課からご連絡させていただきます。こちらからの連絡に対して、「その人数なら金杉台中学校にしたい」とか、「その人数しかいないなら御滝中学校にしたい」というようなお考えをお聞かせください。学級編制のこともありますので、11月末には、一旦、金杉台中学校何人、御滝中学校何人という、その時点での入学予定者数を固めて、現在小学校6年生の皆さんに小学校を通して通知いたします。

その11月末の入学予定者数も参考の上、お子様とも相談していただき、1月中旬にお送りする入学通知書に対し、更に指定校変更申請をされるかどうかお考えいただきたいと思います。選択学区にお住いの方についても、「金杉台中学校を検討中」とお答えいただく欄も作ります。そちらでお答えいただいた方には、同じように個別にご連絡をいたします。1月の20日には御滝中学校の、22日には金杉台中学校の入学説明会がありますので、そのどちらに出席されるのか、もしくは両方出席した上で1月中旬くらいまでには最終決定いただくと、入学の準備に間に合うと思われれます。

なお、もし金杉台中学校に入学したとして、入学後に「やはり統合前に御滝中学校に転校しておきたい。」ということも考えられます。そのような場合には、金杉台中学

校入学後に校長先生とも話し合っていたいただいた上、教育的な配慮が必要ということで、個別に対応もいたしますので、一度、入学してしまったら令和 5 年の統合まで必ず、ということではなく、転校についてはその都度ご相談に応じますということをご承知おきください。

**【司会】**

では 10 分程度になりますが、質疑応答の時間とさせていただきたいと思います。質問や意見ある方は挙手をお願いいたします。

**【発言者③】**

二つお伺いしたいんですけども。入学後、金杉台中学校から御滝中学校にという話があったんですけども、例えば、入学後、御滝中学校から金杉台中学校にというのもありなんでしょうか。

**【学務課長】**

はい、もちろんそういうケースもあるというふうに考えています。

**【発言者③】**

もう一つ話したいことは、金杉台中学校との話はずっと統合っていう話になっているんですけども、金杉台中学校は廃校になるっていう認識でよろしいでしょうか。というのは、例えば統合のときに廃校になって、そういうセレモニーがあったりとか。なかなか中学校生活で自分の在学中に学校がなくなるってというのが、いいかどうか、わからないんですけど、貴重な経験だと思っておるんです。そういった一つの経験というふうに考えて、どういう形にせよ、統合の話が進んでいて、廃校になるのか、廃校になったときにどういうことが起きるのか、もうちょっとお伺いできて、その中で、一つの選択肢にしたいな、と考えているのでお願いいたします。

**【管理部長】**

わかりました。まず、統合した場合、廃校になります。金杉台中学校というのはなくなるんですね。ただ、今、御滝中学校の中で部活動が非常に盛んなんですけども、練習場の確保にすごく調整してます。そこをなんとかならないかというところがありますので、体育館ですとか、それから御滝中学校にはない、武道室が金杉台中学校にはあるので、ちょっと毎日というのはなかなか指導の先生の付き添いのこととかがあって難しいかと思うんですけども、体育館、武道室それからグラウンドそれも有効活用は引き続きしていきたいなというところでいろいろ調整を今しているところです。それから校舎については、これは学校という形ではなくてまいますので、町のコミュニティで使えるですとか、ちょっとそういう使い方をこれから、それは教

育委員会の手を離れてしまうんですが市長のほうでその使い方については今後検討していくこととなります。

**【発言者③】**

セレモニー的なものって行ったりするのでしょうか。「さよなら金杉台中学校」のような。

**【管理部長】**

ちょっとそこについてはまだ、全然考えてはございません。すみません。

**【発言者②】**

今日配っていただいた資料 2 の 16 番、金杉台小学校と金杉台中学校の小中連携は今後どうなりますかというところなんですけれども、話が矛盾しているような気がしていて。御滝中学校と交流します。小中連携もやります。金杉台中学校って一体どこに行くのか。同時に金杉台小学校と御滝中学校の小中連携教育は現在なされていないし、今後も恐らくする予定はないんだろうと思うのですが、極端な話、例えば運動会は今、小中合同でやっていて、でも御滝中学校ともやりますみたいになると、どっちかできないっていう気がするんですが。

**【指導課長】**

まずは金杉台小・中学校の連携というところで、例えば運動会とかそういったところを実施してきたと認識しています。令和 3 年・4 年度については可能かなと考えています。ただやっぱり金杉台小学校と御滝中学校という連携でございますと、小中連携というところでは、運動会とか音楽祭もありますが、生徒会行事での連携を取ることとは可能なんです。例えば中学校の生活について御滝中学校の生徒会役員が金杉台小学校で説明するとか、そういったところもありますので、連携というやり方はいろいろあるので、様々なことを想定して考えています。

**【発言者②】**

勝手に想像していたところなんです、行事での、金杉台中学校と御滝中学校の交流行事というのが何を想定されているんでしょうか。私は勝手に、運動会や音楽会を勝手に想定していたんですが、今の話を聞くとちょっとそれは小学校と一緒にやりますって感じだったんですけれども、何の行事で交流する予定なんですか。

**【指導課長】**

今のところは検討中です。

【発言者②】

心配に思っているのが、当たり前ですけど御滝中学校の子がみんな金杉台中学校に来るっていうのは相当な労力を要するので、それはなさないだろう。そうすると、金杉台中学校の子たちが御滝中学校に行って、何かの行事で交流するっていうことなんだろうかと認識していて、距離も近いようで遠いようで、しかも坂道があって、どれくらい交流が実際にできるのか。変な話ですけど、そんな形式的なことをされても子供たち仲良くなんかならないですよ。そんなので仲良くなれるんだったらみんな不安に思っていないと思うんですけど。

【指導課長】

おっしゃるとおりのところはあります。今、生徒会役員という例として出しましたけれども、やはり子供たちのやらされ感をなくすというところでは、両校の子供たち、例えば生徒会の役員が話し合いをして、こんなことができるんじゃないかとか、そういったことを実現できるようにしていけたらいいのではないかと思います。

【発言者②】

ありがとうございました。

【司会】

あと少しまだ時間があります。どなたかいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。もしちょっとこの場で言いにくいことなどございましたら、ご意見等記入用紙のほうに記入いただいて提出いただければと思います。何かありますか。

【発言者④】

中学校の両方の校長先生にお伺いしたいのですが、子供たちに不安にさせないようにサポートするということですが、学校のほうでどのようなサポートしようっていうお考えか、お聞かせいただいてよろしいですか。

【金杉台中学校 校長】

今とにかく少ない人数の環境から大勢の中に入ることになりますので、それは統合のとき以外でも、実際に卒業すると、たいていの子は高等学校に進学しますので、何十という世界から今度は何百、何千という世界に飛び込むわけです。そのための心の準備。あとは少しでも大勢の中に入れるような環境作りというか、なかなか難しいんですけども。先ほど陸上とかと長距離とかというお話をしましたが、陸上の大会に実際に全員が出ているわけではないんですけど、何人か出して、一つ上の舞台、市の大会から県大会に、実際昨日は力を発揮できずに終わってしまったという結果もあるんですが、県大会に出られるように後押ししたり。あといろんな場面で話をしていくということで、何とか不安を解消しながら、また子供たちの話を聞いてい

きたいというふうに思います。

**【御滝中学校 校長】**

やはり子供たちが一番不安に思うわけですから、子供たちが何に不安を感じているか、今どんな状況なのかっていうのを、まず具体的に聞くことだと思うんです。それが統合に実際に入るときにそうだろうなっていうのがあります。実際に統合してからもそうですね。常にやっぱりその辺、子供の気持ちを考えて生活をしっかりできるようにしていく、不安を取り除くっていうのが一番大きいことかなと思います。

先ほど、ご質問があったように、具体的に何をやっていくかという、例えば行事で交流しますと言っても、修学旅行に一緒に行くわけにはいかないですね。運動会を一緒にやるわけにはいかない。ただ、例えば御滝中学校で合唱祭やっています。ではその合唱祭って一体どんな合唱祭なんだろう。見学に前もって行っておく。ということ是可以すると思います。もしかしたら体育祭とか合唱祭に一緒に入って競技ができるものもあるかもしれない。そこを体験してみるというのもできるかもしれない。ただやはり行事の中には一緒に難しいもの、少しそういう行事の交流が可能なもの、部活動で一緒に活動ができること、そういうこともあるので、そういうことをやりながら、また見えてくるところがあるかなと思っています。

**【発言者④】**

ありがとうございました。

**【司会】**

では、終了予定時刻になりましたので、ここで質疑応答を終了させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。お帰りの際、お手数ですが、「新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用者カード」を出口付近の回収箱にお入れください。また、「ご意見等記入用紙」についても、回収箱を用意しておりますのでよろしく願いいたします。説明会の中での質疑応答と合わせて、個人等が特定されないように取り扱わせていただきますのでご協力をお願いいたします。また、説明会については市のホームページにも本日の資料と完成しましたら会議録も掲載し、出席できなかった方にもご確認いただけるようにいたします。また、概要をまとめまして、後日、関係小・中学校のご家庭にお配りする予定でございます。

それでは、以上をもちまして、「金杉台中学校の統合までの間の入学に関する保護者説明会」を終了とさせていただきます。長い時間にわたり、ありがとうございました。お忘れ物のないようお帰りください。